

水産教育のあり方に関する検討委員会 全体計画

<第2回> 求められる水産教育(教育内容を中心に)

- (1)授業について(専門科目の内容、教育課程の特色、実習の内容、他県の例)
- (2)資格取得について(海技士免許の取得状況、免許の区分、取得方法、その他の資格)
- (3)地域との連携について(水産業担い手育成プロジェクト、その他の地域連携)

ね	・教育内容が、地域や産業界のニーズに応えるものになっているか
ら	・本県の水産高校において必要とされる資格は何か
い	・より効果的な地域との連携は考えられないか 等について意見をいただく

<第3回> 求められる水産教育(進路を中心に)

- (1)求人、就職状況について(第1回より詳しいもの、県内の状況、全国の状況)
- (2)水産高校にかかるコストについて(本科、専攻科のコスト、練習船の建造コスト、ランニングコスト)
- (3)生徒の進路意識について(進路意識調査の結果、進路指導の実際)

ね	・進路意識調査の分析(県外や水産業界以外への就職を志望する生徒の意識等について)
ら	・県内企業や水産業界への就職を促進するためには何が必要か
い	・水産高校にかかるコストをどう考えるか 等について意見をいただく

<第4回> 求められる水産教育(まとめ)、望ましい学科編成

- (1)まとめられる水産教育(まとめ)
- (2)望ましい学科編成について
※必要に応じて関係者意見聴取を実施(例)海運業

ね	・ここまでの議論のまとめ
ら	※必要に応じて関係者から直接意見を聞き質疑応答
い	・これまでの議論を参考に、本科と専攻科の配置、学科編成 等について意見をいただく

<第5回> 水産練習船のあり方

- (1)水産練習船の概略、運航状況の説明(2隻の規模等、他県の例、運航スケジュール)
- (2)今後の水産練習船のあり方について(前回までの協議を踏まえ(具体例)の提示)
- (3)提言の骨子案(求められる水産教育のところまで)

ねらい	・前回の議論をもとに、想定される水産練習船のあり方をいくつか例示し、意見をいただく ・ここまでの協議をもとに提言の骨子案を提示し、意見をいただく
-----	---

<第6回><第7回>は提言案についての協議